

## 2022年度 事業報告

丹波篠山市人権・同和教育研究協議会（以後、市同教）は、発足以来、「差別の現実に深く学ぶ」ことを基本理念として、同和問題をはじめ、あらゆる人権課題の解消に向けて取り組んできました。そして、「日本国憲法」や「世界人権宣言」の基本理念等、人権尊重の精神を大切にしたい社会づくりが重要であること、また、2022年度は「全国水平社」創立100周年にあたり、「水平社宣言」の精神を「社会と向き合う指針」としてとらえることの大切さなどを訴え、活動を進めてきました。

しかしながら、今年度の市同教活動もまだまだ「新型コロナウイルス感染症」の感染拡大による制約の中での活動となりました。そんな中、感染防止対策を講じ、できるだけ対面形式で実施する方向で取り組みました。

2022年度、活動の基本方針並びに活動方針・事業計画等の決定にかかわる総会は、広い会場を利用し3年ぶりに開催することができました。

一昨年は啓発冊子の全戸配布、昨年は、基調講演のみの研究大会でした。今年度はさらに広い田園交響ホールを利用し「人権意識の豊かな人づくり・世間づくり・まちづくり」を大会テーマとし、基調講演のみの対面形式で開催しました。「取り組みの立脚点は差別の現実 ～問われているその基本認識～」の演題で、奥田均さんにご講演いただき、社会問題として差別の現実をとらえることの大切さ、「寝た子を起こすな論」の克服などを学習しました。

昨年度より実施している「人権・同和教育セミナー」（全5回講座）は、第1回は「新型コロナウイルス感染症」急拡大のため、残念ながら中止としましたが、2回目以降は、多くの市民の皆様の参加を得て実施することができました。今年度は、特に「マジョリティ（多数派）の変革の必要性」を学ぶことができました。

「みんなの人権を考える映画会」は、カメラマンのユージン・スミスが3年間取材をした事実に基づく映画「MINAMATA-ミナマタ-」を上映し、「水俣は、まだ終わっていないこと」「世界でも同じような環境被害があること」を学びました。

専門部会は、昨年は全部の部会は実施できませんでしたが、今年度は感染防止対策を講じて、九つの専門部会全部会で実施することができました。また、現地学習のフィールドワークは「在日コリアンの足跡を訪ねて」のテーマで半日（午前中）でしたが、実施できました。

また、市同教と市民の皆様とをつなぐ情報誌「人権・同和教育だより 丹波篠山」を有効な啓発誌と位置付け、内容を工夫し、市同教活動の理解につなげました。

市同教活動は市民の皆様と相対し、双方向で啓発・研修を進めていくことで内容理解や深化に繋がることを再確認したコロナ禍の3年間でした。「人権・同和教育実践の灯を燃やし続ける」ためにも新型コロナウイルス感染症の終息を願います。そして、市同教活動をさらに推進していきたく思います。今後とも市民の皆様のご協力よろしくお願いいたします。

## 1 丹波篠山市人権・同和教育研究大会

- ①日 時 2022年12月11日(日) 13:45~16:00
- ②場 所 丹波篠山市立田園交響ホール
- ③参加者 335名
- ④テーマ 「人権意識の豊かな人づくり・世間づくり・まちづくり」  
○基調講演 「取り組みの立脚点は差別の現実－問われているその基本認識－」  
講師 奥田 均さん(近畿大学名誉教授)

### ⑤実施状況

差別からの解放をめざした全国水平社が創立されてから100年経過しましたが、今なお、差別事象が起きています。さらに、急激な社会変化により人権問題は複雑化、多様化しています。今大会は、「人権意識の豊かな人づくり・世間づくり・まちづくり」のテーマのもと、あらゆる差別解消のために、今私たちにできることを市民の皆さんと一緒に考えました。基調講演では、「部落差別解消推進法の目的」「差別の現実認識における実感主義の克服」「加差別の現実の発見」「社会問題として差別の現実をとらえる」「寝た子を起こす論の克服」についてご講演いただきました。差別問題が社会問題であることが認識でき、社会を構成する一人一人が差別問題を解決する当事者であることが自覚できました。

コロナ禍での開催のため、分科会は開催せず、講演会のみとしました。また、参加者が安心して参加できるように従前より広い会場で開催しました。

今後、より多くの市民の皆さんが参加できる場づくりを考えながら、人権意識の豊かなまちづくりに努めていきます。

## 2 専門部事業

### 1) 保・幼部会

- ①日 時 2022年10月18日(火) 18:30~20:00
- ②場 所 四季の森生涯学習センター 東館 大会議室
- ③参加者 34名
- ④テーマ 「人権を大切に<sup>シメダ</sup>した保育について」  
講師 卜田 真一郎さん(常磐会短期大学 教授)

### ⑤実施状況

子どもの居場所、子どもの人権を巡って、保育者はどう関わるのかを示唆していただきました。少数派を多数派に引き込むのではなく、少数派のことを皆で共有することで多数派の世界が広がる。クラス集団は「育てるもの」、クラス作りは「コミュニティ作り」、コミュニティ作りの要は「価値観を育てる」こと。そして、保育者の価値観がクラス経営に大きく影響するというものでした。参加者からは「担任の価値観が大いに影響することを知り、当たり前と思い行動していることを見直していきたい」「保育者の価値観で子ども、クラスの雰囲気も変わるので、どんなクラスにしたいのか改めて考えさせられる良い機会になった」「気になる子を中核におき、周りの子が変わっていけるような価値観、一緒に育っていける環境をつくっていきたい」などの感想があり、有意義な研修となりました。

### 2) 学校部会

- ①日 時 2022年11月29日(火) 15:00~16:30
- ②場 所 丹南健康福祉センター 研修室
- ③参加者 44名
- ④テーマ 「学び続けて新たに気づく～人権学習の基本～」  
講師 塚本 一男さん(元丹波篠山市小学校教員)

### ⑤実施状況

塚本先生のお話から自分の教育実践をふり返ったり、気づいたり、考えたり…先生のお話は心に染みます、またご講演いただきたい、との参加者の声にもあるように、学びの多い時間を共有することができました。「人権学習」としているのは、教える・教えられる関係ではなく学び合う関係が大事だということです。講話ではご自身の実体験を交えながら、人権とは、人権教育とは、そして根深く存在している差別について法律や条例にも触れながらご教示いただきました。差別を許さない社会をつくるのが私たちの役割であり、そのためには差別を許さない生き方をすることが大切である。学校の人権文化が、人を育てる、チームを育てる、という中身の濃い内容でした。感想では、「差別、同和問題はこれからも学び続け、伝え続けなければいけないことだと思った」「とても分かり易いお話で、自分の中の差別心にも目を向け、人権感覚を磨きたい」「子どもには『それはダメ』と言うだけでなく、どうすれば誰も傷つかずに過ごせるのか、小さいうちからみんなで考え、繰り返しながら人権意識と感覚を育てていければと思う」などがありました。

### 3) PTA部会

①日 時 2023年1月22日(日) 13:30~15:00

②場 所 丹波篠山市民センター 催事場1、2

③テーマ 「ウィズコロナ時代の保護者のあり方」

講師 原 清治さん(佛教大学 副学長)

④参加者 56名

### ⑤実施状況

コロナ禍で流行している子ども達に人気のあるオンラインゲームは、時間の浪費やゲーム依存による学力低下などの危険性があると指摘がありました。また、ほとんどの子がマスクをする中、すでにマスクを着用していた不登校傾向の子が自分だけ「ヘン」ではないと感じるようになり、コロナ後の学校での暫時、密を避けた登校方法と不登校児童・生徒の登校支援が符合したため偶然に再登校しやすい状況が生まれた等、地域・親・学校・子ども達の状況をしっかりと把握された講演は、分かりやすく興味深いお話でした。

ウィズコロナ時代の保護者としては、子ども達にアサーティブ力(相手の意見を尊重しながら、対等に自己主張をしていく力)を身につけさせることが重要であり、そのコミュニケーション・スキルを親も子も身につける事が大切です。

子どもの価値観に寄り添える親のあり方や、子どものしんどさに親がどう向き合えるかなど深く考えることができる研修となりました。

### 4) 障がい者部会

#### 啓発チラシ配布活動

本年度も啓発チラシの手渡しによる配布はコロナ禍のためにできませんでした。関係機関や協力店にチラシを設置し、来訪者各自で取っていただく方法をとりました。

①日 時 2022年11月下旬~12月上旬

②設置場所 ・丹波篠山市役所・各支所・各公民館・各ふれあい館・県立高校  
・中央図書館・市民センター・ハートピアセンター  
・JA丹波ささやま各金融機関・中兵庫信用金庫各支店  
・社会福祉協議会・障害者福祉協議会「ふれんどりー」各作業所等  
43ヶ所に設置しました。

③キャッチコピー 「なくそう心のバリア 築こう共生社会」

## 5) 男女共生部会

①日 時 2022年11月12日(土) 13:30~15:00

②場 所 丹南健康福祉センター 研修室

③参加者 29名

④テーマ 「男女共生とは?~誰もが安心して暮らせる社会をめざして~」

講師 井山 里美さん(NPO 法人女性と子どものエンパワメント関西事務局長)

### ⑤実施状況

今回は「男女共生」をテーマに学習しました。

井山さんは男女共生とは?「誰もが安心して暮らせる社会」として

(1)女性であること男性であること、そのいずれでもないことに関わりなく、誰もが所属感を感じられる社会。

(2)みんながお互いを認め合い、個性や能力を発揮できる社会。

(3)何らかの生き方を押しつけるのではなく、自分らしい生き方を自分で決め、自分に自信が持てる社会。

と提示されました。

ジェンダーについても何故ジェンダー平等が進まないのか?という問題に、社会的につくられた男女差や男女別の役割等で、そうあるべきだ、そうしなければならないという先入観で判断してしまうことにあり、ジェンダー平等を促進するために必要な土台は人権意識であることご教示いただきました。

では、人権とは・・・人が生きていくためになくてはならないもの。誰からも奪われることなく誰のものも奪ってはならないもの。ところが、ジェンダー不平等はいろんなハラスメントやDV、ストーカー行為、性被害等を生み出している。このような格差をつくってはならない。誰もが安心して暮らすために必要な「内なる力」

(潜在的な能力、勇気、自己決定力、自己実現力等)に気づき、自尊感情や自己肯定感を高めることが必要とご教示いただきました。

## 6) 宗教部会

①日 時 2023年 3月 9日(木) 13:30~15:00

②場 所 丹波篠山市民センター 多目的ホール

③テーマ 「古文書に見る丹波篠山の人権の歴史」

講師 今井 進 さん(市同教啓発推進委員)

④参加者 118名

本部会は、宗教者、寺院寺総代、神社宮総代等の方々に構成され、例年多くの方に参加いただいています。本年度も3年ぶりの開催であり、しかも平日の昼間にもかかわらず118名の皆様を迎えて開催することができました。

### ⑤実施状況

今井さんの古文書から読み取れる熱のこもったお話を聴き、江戸時代から明治初期にかけての差別政策の理不尽さと命をかけてその政策に抗い続けた人たちの姿に接することができました。特に今回は、地元丹波篠山の人権の歴史という身近な題材を、新たに分かった歴史の事実をもとに読み解いていくという話であるため、参加いただいた皆さんも大変関心をもって聴き入っていました。

参加いただいた方からの「人権の歴史を学ぶことは大変重要だと思った」「地元の人権の歴史をよく知っていなかったことを再確認し、とても勉強になりました」「この日の研修会を自分の村でも開催したい」などの意見からも関心の高さがうかがえました。

今回の研修会で、人権課題の解消には、正しく知ることが如何に大切であるかを改

めて実感することができました。誤った知識が偏見を招き差別を生むという負の連鎖を断ち切るために、これからも正しく知る学習の機会・場を設けていかなければという思いを強くしました。

## 7) 企業部会

①日 時 2023年 3月14日(火) 18:30~20:00

②場 所 丹波篠山市民センター 多目的ホール

③テーマ 「古文書に見る丹波篠山の人権の歴史」  
講師 今井 進 さん(市同教啓発推進委員)

④参加者 116名

企業部会は54社の企業から構成されており、コロナ前は年2回の研修をしていました。本年度3年ぶりに開催(年1回)でき、116名の参加がありました。

⑤実施状況

宗教部会と同じ。

## 8) 高齢者部会

高齢者の人権学習は、単位老人クラブや自治会との合同で開催されました。内容は、「自分の住む地域のことを知り、考えたい」という願いから、「命を守る防災」「人権・同和問題を考える」「高齢者と福祉」等をテーマとして実施しました。

老人会組織が減少傾向にある中、実施困難なところもありますが、他地域の老人会組織と合同で開催される等、工夫をしながら意欲的に取り組まれました。実施した学習内容と会場は、資料として添付しています。

## 9) 地域部会

①日 時 2022年11月24日(火) 19:30~21:00

②場 所 丹波篠山市民センター 多目的ホール

③テーマ 「丹波篠山の戦前から戦後にかけての在日の歩みから学ぶ」

講師 丹波篠山市在日コリアン足跡調査研究・銘板設置の会

徐根植<sup>ソンギツク</sup>さん 松原薫さん 川西なを恵さん 細見和之さん 愛沢革さん

④参加者 57名

⑤実施状況

まず、徐根植さんから篠山では、1926年ころから朝鮮人たちが本格的な珪石の生産に入った。戦前・戦中の軍事産業では篠山の珪石を使った耐火レンガで溶鉱炉をつくり、その溶鉱炉で鉄をつくっていた。その珪石生産は多くの在日コリアンが担っていたとお話がありました。

また、戦後のことについては、松原薫さんから村雲、大芋鉱床群の珪石鉱山と豊林寺の慰霊碑について、川西なを恵さんからは、在日コリアンたちの働きぶり・暮らしぶりについて、細見和之さんからは、自らが生まれた立町の孔雀会館に民族学校が設置、篠山小学校に民族学級が設置された経緯等について、そして、愛沢革さん含め4人の在日コリアン足跡調査班から地域の記憶の世代継承のために、篠山小学校、畑鉱山など計7カ所に在日コリアンの足跡と関連する主要な場所に銘板を設置したと話がありました。

丹波篠山市に居住していても大芋鉱床群・村雲鉱床群・畑鉱床群があったことを知らない人もあり、今回の研修を通じ戦前戦後の篠山の歴史を知ることができました。

外国人差別をはじめ、あらゆる差別を許さず、お互いの人権を尊重する社会の構築に向け一人一人が努力していかなければならないとの意を強くした研修会でした。

### 3 啓発推進委員会

啓発推進委員会においては、これまでの調査研究活動の成果を講師・ゲストティーチャーとして、市同教の諸部会や学校教育、外部の人権関係団体の学習・研修に取り組みました。教育・啓発活動へのより効果的な取組や様々な学習・研修依頼に対応できるように検討しました。

### 4 人権・同和教育セミナー2022

昨年度より、「人権尊重のまち丹波篠山市」をめざして、「人権・同和教育セミナー」連続講座を開講しました。会報で広く市民に参加を募りました。また、学校教職員や行政職員の参加も募りました。

#### 1) 人権講演会

昨年度の第5回人権・同和教育セミナーがコロナのために中止になったため、本年度人権講演会として開催しました。

- ①日時 2022年 6月18日(土) 14:00~16:00
- ②テーマ 「部落差別のない社会を~自他ともに輝くために~」
- ③講師 春川 政信さん(三木市人権・同和教育協議会 副会長)
- ④参加者 39名
- ⑤実施状況

現在の部落差別の特徴や部落問題を学び、部落差別のない社会づくりについて日常の出来事から具体例を挙げながらお話いただきました。その中で、「差別をする人が間違っている」「一番しんどい立場の人のことを考える」「学歴ではない、その人の中身が大切」「間違ったことを間違いだ!といえる人でありたい」など、再認識できました。

#### 2) 第1回 人権・同和教育セミナー

- ①日時 2022年 8月 6日(土) 14:00~16:00
- ②テーマ 「水平社宣言と日本国憲法をつなぐもの」
- ③講師 上杉 聰さん(元大阪市立大学教授)
- ④実施状況

上記を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。  
(2023年8月5日(土)に2023年度の第1回セミナーとして開催予定)

#### 3) 第2回 人権・同和教育セミナー

- ①日時 2022年 9月 3日(土) 14:00~16:00
- ②テーマ 「はじめてみよう!これからの部落問題学習」  
~部落差別解消推進法をどう活かすか~
- ③講師 北川 真児さん(部落解放同盟兵庫県連合会 事務長)
- ④参加者 37名
- ⑤実施状況

インターネットによる差別事件の悪質化と、また社会の急速な変動にともなう差別の変化について語っていただきました。また、差別をなくすために、常に情報のアップデート(更新)をする大切さを学びました。そして差別問題を学ぶことは、多様な人たちとの関係を深め自分の人生を高めることになることを教わりました。

#### 4) 第3回 人権・同和教育セミナー

- ①日時 2022年10月 1日(土) 14:00~16:00

- ②テーマ 「マイノリティ女性の生きづらさー差別の交差性を考える」
- ③講師 瀬戸 徐 映里奈さん (近畿大学人権問題研究所 特任講師)
- ④参加者 41名
- ⑤実施状況

マイノリティ女性とは、被差別部落、他国籍、障がい、セクシャルマイノリティなど複合的にもっている女性を言います。そのため、一人が抱えるのは一つの差別ではないという差別の複合性(交差性)により、生きづらさを持つ人が多い現状を学びました。また、生きづらさがどういう事なのかを理解することが大切だと教わりました。

#### 5) 第4回 人権・同和教育セミナー

- ①日時 2022年11月 5日(土) 14:00~16:00
- ②テーマ 「差別と社会ー差別が生じるメカニズム」
- ③講師 内田 龍史さん (関西大学教授)
- ④参加者 40名
- ⑤実施状況

差別の発生の構造をマジョリティ(多数派)とマイノリティ(少数派)の立場から分析されました。マイノリティ(あたりまえではない人・理解不能な人)を遠ざけ、見下し、仲間外れにすることが差別の原因になり、その原因を差別されている人の問題にすり替えるというしくみを語っていただきました。また、部落差別について詳しく知らない若者たちが、インターネット上で拡散されている情報を誤って認識する危険性についてもお話いただきました。

#### 6) 第5回 人権・同和教育セミナー

- ①日時 2023年 1月29日(日)
- ②テーマ 「部落差別の解消に向けて」  
～人権教育・啓発の課題をふまえて～
- ③講師 棚田 洋平さん (部落解放・人権研究所 事務局長)
- ④参加者 38名
- ⑤実施状況

今年度の最後のセミナーとして、第2回から第4回まで(第1回は新型コロナ感染拡大防止のため中止)の内容を分かりやすくまとめていただきました。部落差別解消に向けた実践はすべての人の権利を守ることにつながる。つまり、すべての人があらゆる差別問題の当事者になる構造を語られました。そして差別をなくすためには、マイノリティ(少数派)の排除・同化・適応でなく、マジョリティ(多数派)の変革が必要であり、また無関心でいることが最も差別を助長すると教わりました。

#### 5 「みんなの人権を考える」映画会

- ①日時 2022年 8月11日(木 祝) 14:00~16:00
- ②場所 丹波篠山市民センター 多目的ホール
- ③参加者 60名
- ④テーマ 「MINAMATA-ミナター」

「MINAMATA」は、著名なカメラマンであるユージン・スミスと妻のアイリーンが水俣病の重大さに気づき、水俣で3年間取材をした事実に基づいた映画です。水俣病に苦しんでおられる方々が今なおたくさんおられ、また世界でも同じような環境被害に苦しむ人々がいる事実も知り「水俣はまだ終わっていない」という事を強く感じる映画でした。映画を観られた方は、「水俣は今なお続いている問題であること、世界でも同様のことが

あることにも気づくことができました。これから正しく知りながら何ができるのか考えていきます。」と感想を述べられていました。

## 6 フィールドワーク

- ①日 時 2022年 8月28日(日) 9:00~12:00
- ②コース 城東公民館発→小倉ふれあいセンター前ロース岩→豊林寺→櫛岩窓神社→大芋地区(碓石鉾山跡)→村雲地区(烏山鉾山跡・小林天岩鉾山抗口跡)→城東公民館着
- ③参加者 21名
- ④テーマ 「丹波篠山市在日コリアンの足跡を訪ねて」  
講師 「丹波篠山市同教 啓発推進委員」 松原 薫さん
- ⑤実施状況  
丹波篠山市の戦前から戦後にかけての在日コリアンの史跡を辿りました。碓石鉾山跡を中心に、当時の在日コリアンと日本人の交流を学びました。

## 7 連携推進事業

- (1) 兵庫県人権教育研究協議会・丹波地区同教・丹波市同教との連携  
丹波地区人権・同和教育研究協議会の研究大会、役員研修会、啓発冊子編集作業に関わるなど、市域を越えた交流を行い、様々な課題について協議を行いました。丹波市同教とは交流や情報提供をしながら連携を進めてきました。
- (2) 部落解放同盟丹波篠山市支部連絡協議会・部落解放共闘会議との連携  
各種研修会への参加を中心に行いました。
- (3) 人権推進課、教育委員会との連携  
毎月1回、三者での打ち合わせ会を継続し、研究大会の内容や丹波篠山市の人権課題について協議しました。特にコロナ禍での誹謗中傷等の人権課題について各関係機関での課題について情報交換しました。人権教育の推進や啓発に関わる関係機関として、今後も連携を密にして進めていきたいと考えています。
- (4) その他  
人権関係団体との連携

## 8 研究大会・研究集会への参加

- (1) 第69回兵庫県人権教育研究大会丹波地区大会(ハイブリッド方式)
  - ①日 時 2022年7月30日(土) 12:45~16:00
  - ②場 所 丹波篠山市立四季の森生涯学習センター
  - ③参加者 丹波篠山市より 直接参加36名 オンライン参加123名 計159名
- (2) 第69回兵庫県人権教育研究大会中央大会
  - ①日 時 2022年9月24日(土) 11:00~16:00
  - ②場 所 尼崎市立小田中学校からオンライン配信
  - ③参加者 丹波篠山市より オンライン参加64名 (実践報告1名 司会1名は会場へ)
- (3) 人権啓発研究第43回兵庫県集会
  - ①日 時 2022年10月23日(日)
  - ②場 所 兵庫県立のじぎく会館 丹波市立氷上文化センター(サテライト会場)



③参加者 (丹波篠山市同教より) 1名

(4) 部落解放研究第55回全国集会

①日時 2022年11月15日(火)～16日(水)

②場所 鳥取県米子市

③参加者 (丹波篠山市同教より) 1名

(5) 第73回全国人権・同和教育研究大会

①日時 2022年11月26日(土)・27日(日)

②場所 奈良県奈良市・なら100年会館

③参加者 (丹波篠山市同教より) 2名

(6) 第37回人権啓発研究集会

①日時 2023年1月19日(木)・20日(金)

②場所 埼玉県さいたま市

③参加者 (丹波篠山市同教より) 2名

(7) その他

・諸研究大会・研究集会に参加して学んだことを各部会や役員会の中で報告し、多くの方に広げています。

## 9 会報の発行、ホームページの運用

会報「人権・同和教育だより丹波篠山」を6月・10月・2月の年間3回発行しました。「人権が尊重されるまちをつくろう」「身近な生活の中から学ぼう」をテーマに、6回の編集会議を開催し協議しました。分かりやすく、読みやすい紙面になるよう、工夫しました。

ホームページでは、総会資料、会報、専門部会情報、市同教の事業(映画会、フィールドワーク、セミナー等)を掲載しております。また、緊急の連絡もいたします。

ホームページアドレス <http://t-s-doukyou-hr.jp>

## 10 市民への学習支援

講師紹介や参考資料の紹介等、各団体の研修や個々の学習を支援しました。

## 11 図書・出版物の紹介

図書・出版物を購入し閲覧しました。

## 第4号議案

# 2023年度 基本方針並びに活動方針・事業計画

### 基本方針

1. 我が国の社会に今なお存在する部落差別をはじめ、あらゆる人権課題の解消を図り、すべての人の幸せにつながる「人権尊重のまちづくり」を推し進めます。
2. 「障害者差別解消法」「ヘイトスピーチ解消法」「部落差別解消推進法」等、人権関係法令の趣旨を踏まえ、人権課題の解決と人権文化の確立をめざす市民、事業者、団体、機関等と広く連帯し、差別のない共に生きる社会をめざします。
3. 人権・同和教育の学習活動の場を充実し、差別を許さない市民意識の醸成、人権意識の高い人づくり・地域づくりに努め、こころ豊かな共に生きる市民社会をめざします。

### 活動方針

丹波篠山市人権・同和教育研究協議会は、発足以来「差別の現実に深く学ぶ」ことを基本理念として、同和問題をはじめ、あらゆる人権課題の解消と人権文化の確立をめざして取り組んできました。

しかし、私たちの社会は、高度情報化、少子高齢化、産業構造の変化やそれに伴う経済格差の拡大等により、子どもや若者の貧困、高齢者や子どもへの虐待、DVやハラメント、LGBTQ+など性的マイノリティへの無理解、ヤングケアラー問題等々解決すべき多くの人権課題が生じています。また、情報化社会はコロナ禍において一気に進み、国民の約80%がSNSを利用し、小中学生一人一人には学習端末が配備されています。ネット社会は、簡単に差別が広がり、偏見が増幅される社会であり、子どもたちでさえもSNSを悪用した誹謗・中傷に巻き込まれたり、意図せずに加担したりする危険性があるなど、より複雑化・多様化・悪質化した人権課題を起しています。さらに、今私たちは、気候変動や差別・貧困・人権問題等多くの地球的課題を抱え、次の世代に繋いでいくためにも「だれひとり取り残されることがない社会の創造」を基本理念としたSDGs（持続可能な開発目標）の推進に取り組まねばなりません。また、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻には、「戦争は最大の人権侵害」であるとの立場から、多くの人たちの悲しみや苦しみに思いを寄せ「平和の大切さ」「命の尊厳」について考えなければなりません。

私たちは、本年度も同和問題をはじめ多様化・複雑化した様々な人権課題の解消をめざし「誰もが幸せを実感できるまちづくり」「誰もが自他の人権を尊重し、自分らしく生きることができるまちづくり」の実現に向けて全力で取り組みます。そのためには、だれもが人権課題について正しく理解し、自分事として捉えることが大切です。研修や啓発の在り方を、より参加しやすく効果的なものとなるよう工夫し、人権・同和学习への関心と理解を一層高めていきたいと思っております。

終わりに、丹波篠山市同教は、全市民参加の教育・研究組織として、「人間は尊敬すべきもの」の水平社宣言を大切にし、人権課題解消に向け取り組んでまいります。さらなるご理解ご支援ご尽力をいただきますようお願いいたします。

## 事業計画

1. 第25回丹波篠山市人権・同和教育研究大会の開催 12月9日(土)
  - ・研究大会と人権フェスタとを同一日に開催し、三者(丹波篠山市・市教委・丹波篠山市同教)で連携して取り組みます。研究大会は、田園交響ホールで開催します。
2. 専門部会
  - ・保・幼、学校、PTA、障がい者、共生(仮)、宗教、企業、高齢者、地域部会の9部会で取り組みを進めます。9分野別に課題と向き合い、テーマを決めて課題解決につながる学びの場を提供していきます。
3. 人権・同和教育と啓発活動、人材育成活動
  - ・各専門部会での研修は、それぞれの場で学びが実践へと発展するよう研修方法を工夫していきます。各団体やグループの研修会・学習会に講師を派遣したり、資料を提供したりして教育・啓発活動を支援します。
  - ・啓発推進委員会は、人権課題を踏まえ、広く市民に人権啓発活動を行い、人権文化の根付くまちづくりを担います。
  - ・「人権尊重のまち 丹波篠山市」をめざし、「人権・同和教育セミナー」連続講座を開講します。
4. 「みんなの人権を考える」映画会には「破戒」を上映します。 8月11日(金・山の日)
5. 市同教フィールドワークは「ウトロ平和祈念館」(宇治市)で研修します。 8月27日(日)
6. 連携推進
  - ・部落解放丹波篠山市民共闘会議との連携
  - ・丹波地区同教、兵人教との連携
  - ・市行政(人権推進課)、市教委、各団体との連携インターネットモニタリング事業の協力
7. 各研究大会・研究集会へ積極的に参加し、実践交流を図り、市の人権啓発活動に反映させます。
  - ・第70回兵人教丹波地区大会 7月29日(土) 四季の森生涯学習センター
  - ・人権啓発研究第44回兵庫県集会 10月28日(土) のじぎく会館
  - ・部落解放研究第56回全国集会 11月14日(火)～15日(水) 和歌山市
  - ・第74回全国人権・同和教育研究大会兼兵人教中央大会  
11月25日(土)～11月26日(日) 兵庫県明石市 神戸市 大阪府 京都府
  - ・第38回人権啓発研究集会 2月1日(木)～2日(金) 京都市
8. 広報啓発事業
  - ・会報「人権・同和教育だより 丹波篠山」を年3回(6月、10月、2月)発行し、市同教の取り組みの状況を知らせるとともに、日々の生活を見つめ、感動することや不合理に感じることを市民で考え合う場となるよう工夫していきます。
  - また、インターネットのホームページ上で人権に関わる様々な情報を市民の皆さんへ提供しています。総会資料、会報、専門部会情報、市同教の予定、関係法等を掲載しています。また、緊急の連絡やセミナーの募集などの情報も提供します。ホームページアドレス：<http://t-s-doukyou-hr.jp>
9. 市民への学習支援
  - ・一人からの学びの要望に応じ、講師や参考資料(図書・出版物等)の紹介等、研修会・学習会の支援(計画から実施)を行います。
10. その他、目的達成に必要な事業